

公共事業新規事業評価調書 (県土整備部)

課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 岡本 坦 (大江 泰廣)	内線	4 4 7 4 (4 4 8 0)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	------------------------

事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1 9 億円
		都市計画道路 尼崎宝塚線 (県道尼崎宝塚線)	宝塚市小浜		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
宝塚市小浜			H 1 3 年度	H 1 7 年度

事業目的		事業内容	
渋滞対策 ・ボトルネックとなっている国道 1 7 6 号との交差点の容量拡大により、慢性的な渋滞解消を図る。 阪神間の南北軸の強化 ・阪神間都市圏の広域的なネットワークの強化。		道路改築(現道拡幅、交差点改良) L = 2 9 0 m W = 2 2 m (4 車線)	

評価視点

(1) 必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけ...緊急輸送路 避難路...広幅員(22m)のため避難路に該当 火災の延焼遮断...広幅員(22m)のため火災の延焼遮断に効果あり
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 都市内道路ネットワークの形成 ...尼崎臨海部と宝塚市を結ぶ阪神間の主要南北幹線 交通拠点へのアクセスの向上 ...中国自動車道宝塚 IC へのアクセス道路
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 福祉のまちづくり地区の指定等...小浜地区重点整備地区内 人身事故の軽減...人身事故(265人/億台和年)の削減に資する道路 街路緑化...高木植栽計画有り 第3次渋滞対策プログラムに位置づけ...小浜交差点 混雑度の低減...現況混雑度(2.01)の低減に資する道路 公共交通機関の利用促進...バス路線 240 本 / 12hr
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地元、市からの強い事業化要望あり 前後の区間の状況 ...尼崎~宝塚間のうち現在 5 工区で事業中

(2) 有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 3.8 渋滞解消による時間短縮、阪神間の広域的な連携の強化等の効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 宝塚市街路整備プログラムにより公表済み (H11.7) 円滑な用地取得に向け、市と用地取得体制に関する協議済み 買取申出に対応して、用地交渉中 (1 件)

(3) 環境適合性	街路緑化等により、沿道環境の保全に努める。また、交通流の円滑化による自動車排出ガスの低減効果も期待できる。
-----------	---

(4) 優先性	当該道路整備は、阪神間の主要南北軸としての路線全体の事業効果をより高めるため、現在事業中の工区を延伸して整備するものであり、第3次渋滞対策プログラムに位置づけられた小浜交差点の渋滞解消、阪神間の広域的な連携の強化等、多様な観点から整備の必要性が高い。
---------	---

評価の結果	左の理由
-------	------